

住宅リフォーム市場規模調査 2013年は前年比12.3%増(ヤノ・レポート)

国内の住宅リフォーム市場の短期的な市場トレンド調査を実施し、去る2月下旬に「住宅リフォーム市場に関する調査結果～2013年第4四半期～」の調査結果サマリーを発表した。

調査結果サマリー

2013年第4四半期(10～12月)の住宅リフォーム市場規模は2兆655億円(速報値)で、前年同期比17.0%増と推計する。四半期で2兆円を超えたのは2000年以降では3度しかなく、3番目の規模となった。景気回復とともに消費増税による駆け込み需要が顕在化しているものと考ええる。

2013年(1～12月計)の住宅リフォーム市場規模は、6兆9,521億円(速報値)で、前年比は12.3%増と推計する。2003年以来の7兆円が目前となった。2013年は「設備修繕・維持」分野が大きく拡大していることが特徴的である。また、2013年年初より株価上昇等による資産効果が影響を与えたことも一因と推測する。

2014年の住宅リフォーム市場規模は6.3～6.8兆円を予測。

4月以降の消費増税の影響予測は難しいが、おそらく反動減に見舞われるものと推測される。従って、2014年の住宅リフォーム市場規模は6.3～6.8兆円を予測する。大規模リフォームは、消費増税反動減の影響が比較的小さく、消費税率10%への更なる引き上げが見込まれるものの、しばらくは現状維持で推移するものと考ええる。

壁装新聞(第409号)より引用